

地域医療コース特論・演習

Integrated Community Pharmacy

薬：L1-18613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 小清水 治太(薬学教育研究センター／地域医療学)

■教育目的

5年次の「地域医療コース」実習で修得した知識・技能・態度の総復習を行う。コース実習中に気付いた「地域医療の問題点」を再考し、その問題に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識・技能・態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」で取り組んだコース研究レポートを輪読し、今後の地域医療、薬局業務、患者および地域住民にどのように活かせるかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療研修コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤～⑥】

■学習到達目標

1. 地域医療に関する問題点について SGD で討議し解決法を提案する。(知識・技能・態度)
2. 地域薬局のトラブル事例について SGD でディスカッションし対応について討議する。(知識・技能)
3. 5年次に取り組んだ各自のコース研究に関し学生間でその目的を理解し評価する。(知識・技能・態度)
4. 地域医療における漢方の役割を関係づける。(知識)
5. 海外における地域医療および薬剤師の役割を関係づける。(知識)
6. 将来の地域医療の役割について討議する。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：コース実習で得た知識・技能・態度を、患者および住民にどのように活かせるかを再考しておく。(30分)

復習：今後、地域薬局が患者および地域住民に対して担う役割を再確認する。(30分)

■授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、双方向型授業、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1～2	演習	コース研究レポート輪読(プレゼンテーション、SGD)	G(3)-4,5
3～4	演習	薬局窓口における対応(SGD) (1)処方箋・薬歴(SOAP) (2)窓口トラブル対応	B(4)-①-1～6、B(4)-②-1～5
5～6	演習	地域医療の問題点とその対応(SGD)	B(4)-①-1～6、B(4)-②-1～5
7～8	特別講義(合同)	医療機器から見た在宅医療、訪問看護と薬剤師との連携	B(4)-①-1～6、B(4)-②-1～5
9～13	特別講義(合同)	地域医療に関連する他コース(海外医療研修・伝統医療薬学等)の講義	
14～15	特別講義(合同)	多職種連携について(日本社会事業大学担当)	B(4)-②-1,4

■授業分担者

小清水 治太(責任者)、下川 健一(副責任者)、中舘 和彦(副責任者)、植沢 芳広、大類 彩、尾上 洋、蒲生 修治、木村 真也、小関 珠美、斎藤 ゆかり、齋藤 望、高橋 朋子、田口 潤、田湯 正法、深水 啓朗、宮沢 伸介、望月 靖子、山田 聖子、横屋 正志、学外講師

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、授業担当者より解説・説明をする。

授業(演習・講義)の演習態度 50 %およびレポート評価 50 %にて総合的に評価する。